

整理番号	整 4-2	指定年月日・指定番号	令和4年10月11日 指定-19号	所在地	三重県いなべ市大安町梅戸1100番地の一部	
調製・訂正年月日	令和4年10月11日(調製) 令和5年11月7日(訂正)					
形質変更時要届出区域の概況	事業場	面積	86.83 m <sup>2</sup>			
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨	-					
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかつた土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかつた深さの位置及び特定有害物質の種類	-					
土壤汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由	-					
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置	-					
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨	-					
形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	令和4年3月29日	ふっ素及びその化合物		溶出量基準		株式会社東海テクノ
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壤搬出	汚染土壤の処理方法
	令和5年10月20日 (令和5年11月13日)	令和5年11月18日	掘削除去、埋め戻し、 アスファルト及びコンクリート	株式会社神戸製鋼所	有・無	異物除去、 浄化(抽出-洗浄処理)
					有・無	

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態」については、土壤その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

○形質変更時要届出区域の所在地及び周辺の地図

三重県いなべ市大安町梅戸 1100 番地の一部

○土壤汚染状況調査において土壤その他の試料の採取を行った地点を明示した図面  
図のとおり

○土壤その他の試料の採取を行った日

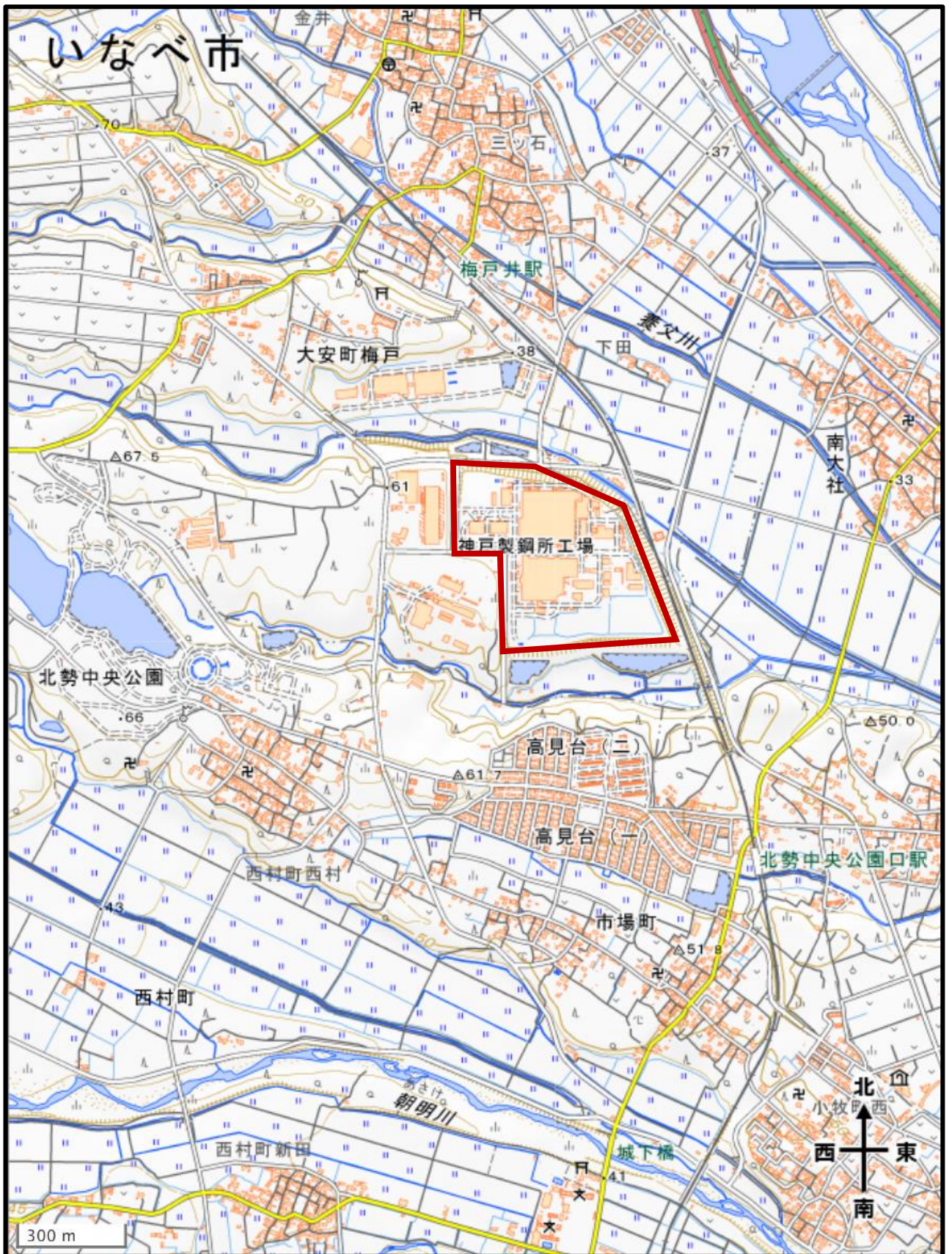
令和 3 年 11 月 29 日～令和 3 年 12 月 1 日

○調査結果

B 3 - 1 ふっ素及びその化合物溶出量基準超過 0.88 mg/l

○土地の形質の変更に係る実施措置等

施行方法を明らかにした平面図等参照（令和 5 年 11 月 13 日着手分）



:調査対象地

出典:国土地理院地図

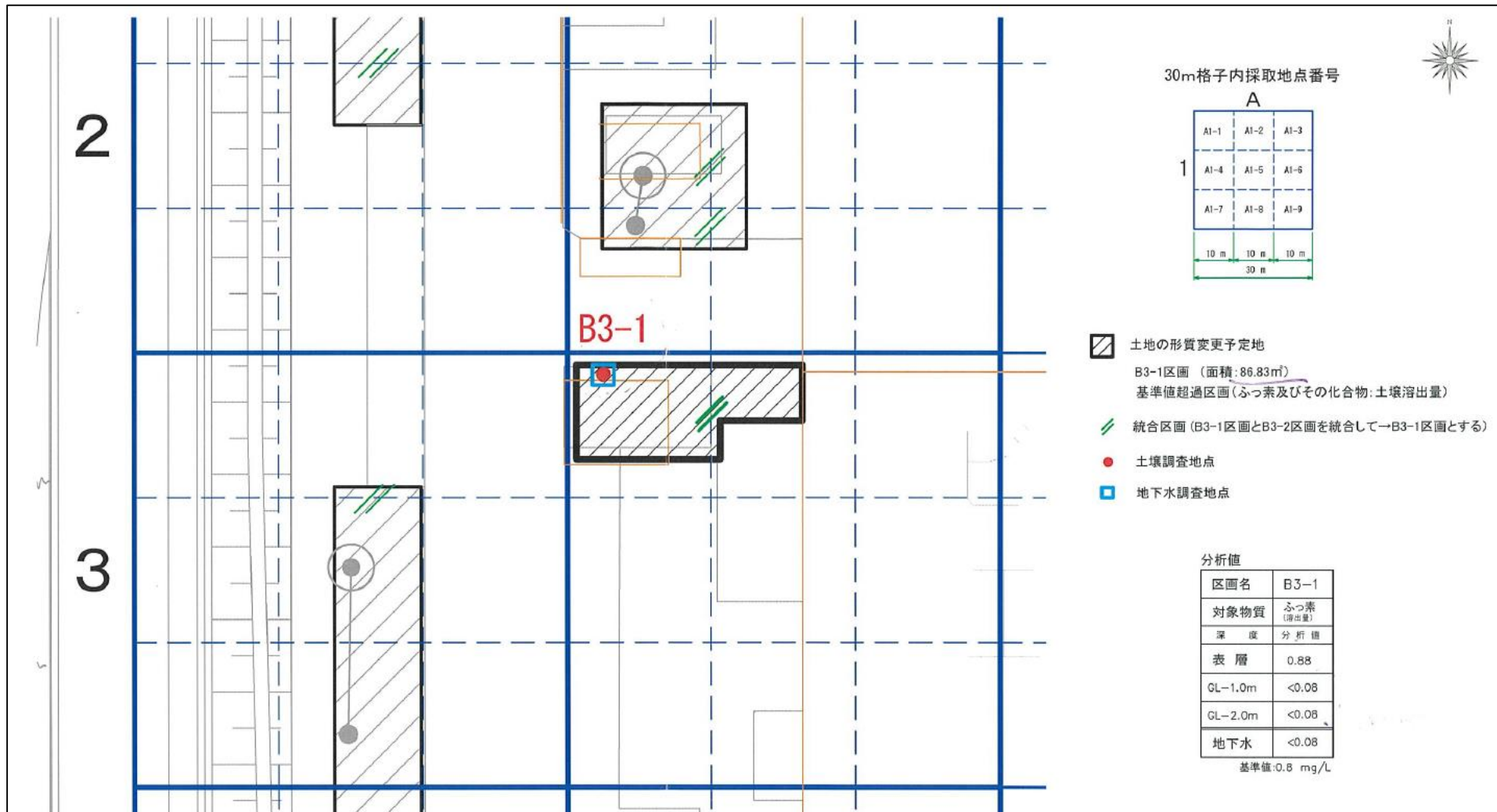


図 詳細調査結果(ふっ素及びその化合物)

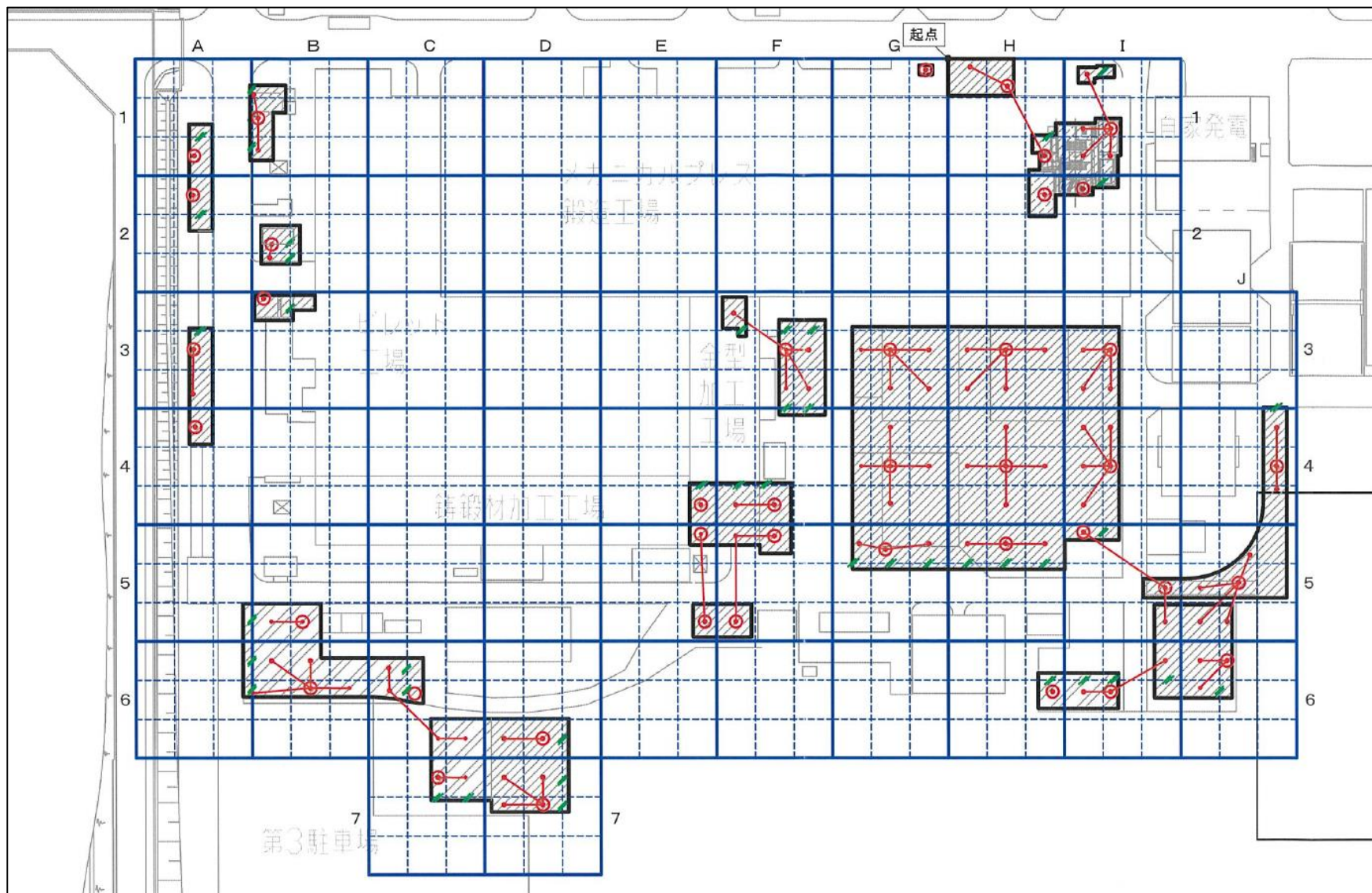
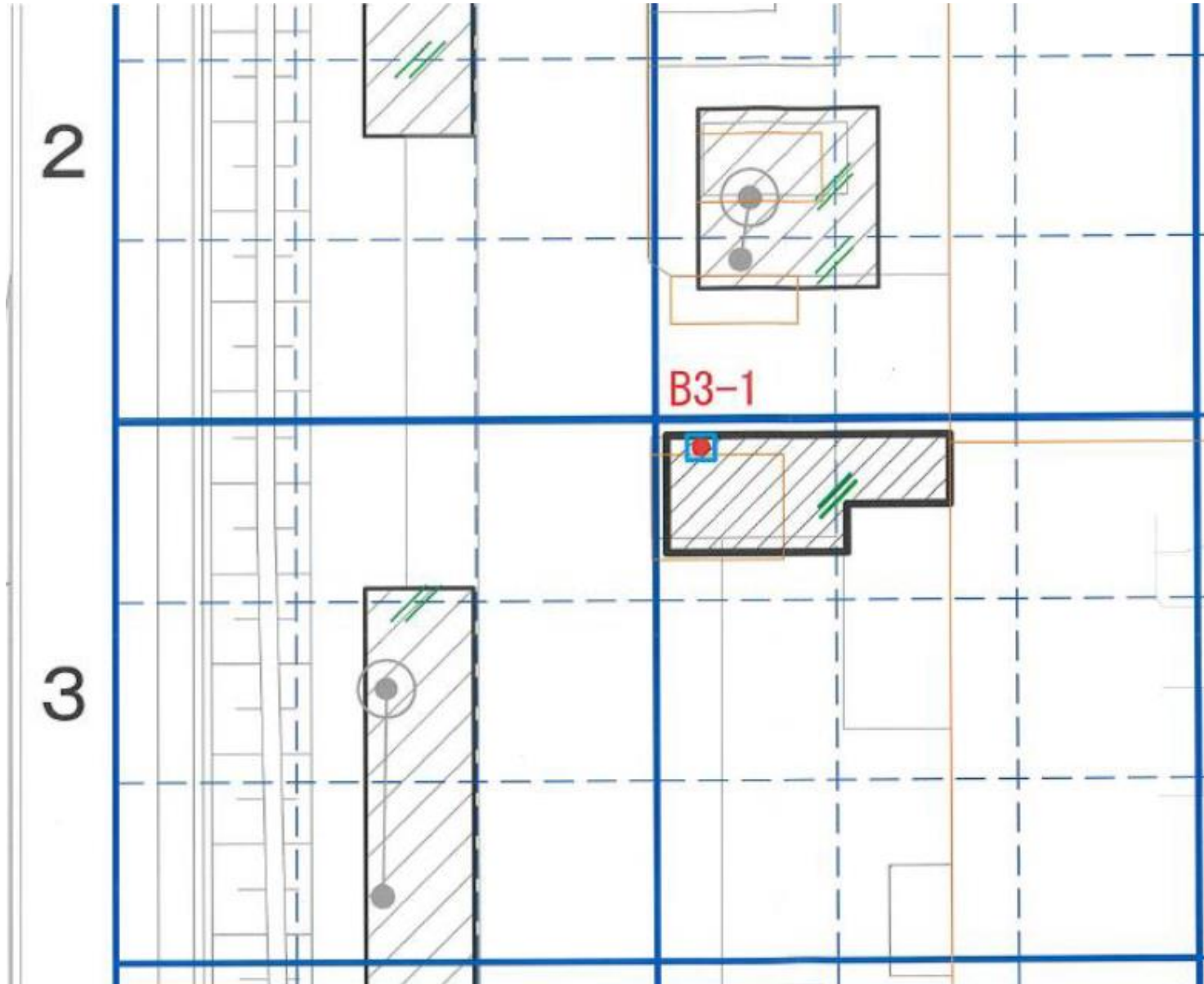






図 調査概要図

土地の形質の変更に係る実施措置等

# 土地の形質の変更の場所 (B3-1を含む太枠)



-  土地の形質変更予定地
- B3-1区画  
基準値超過区画(ふっ素及びその化合物:土壌溶出量)
-  統合区画 (B3-1区画とB3-2区画を統合して→B3-1区画とする)
-  土壌調査地点
-  地下水調査地点

## 分析値

区画名	B3-1
対象物質	ふっ素 (溶出量)
深 度	分析値
表 層	0.88
GL-1.0m	<0.08
GL-2.0m	<0.08
地下水	<0.08

基準値:0.8 mg/L

## 2. 措置の内容

掘削による除去

## 3. 措置の実施期間（予定）

全体	令和5年11月 13日～令和5年 11月30日
基準不適合土壌の搬出の着手予定日	令和5年 11月 13日
基準不適合土壌の搬出完了予定日	令和5年 11月 16日
基準不適合土壌の運搬完了予定日	令和5年 11月 16日
基準不適合土壌の処理完了予定日	令和5年 11月 18日

## 4. 土地の形質の変更を行う面積

86.83 m<sup>2</sup>

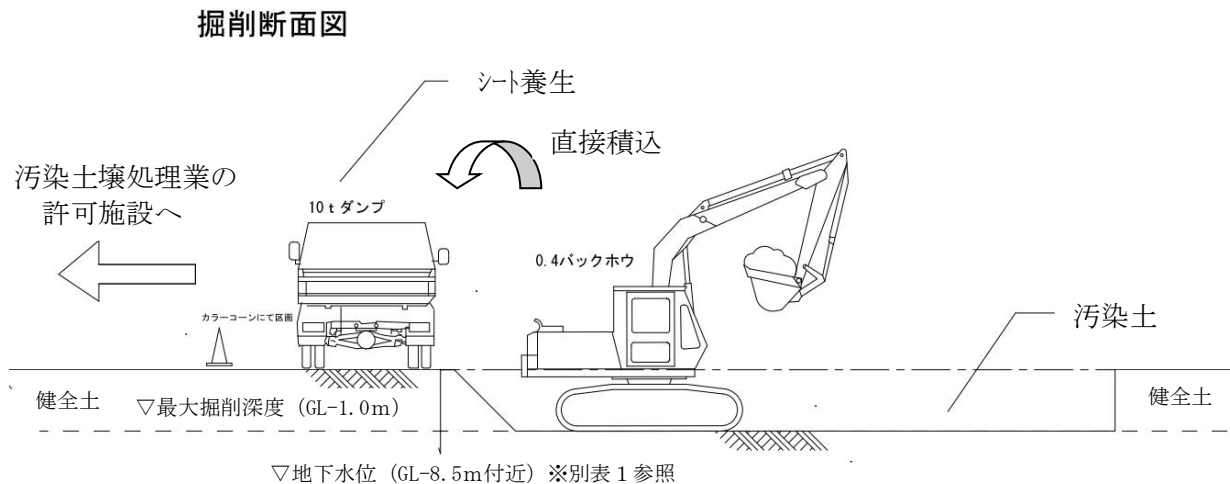
## 5. 掘削除去の方法

### (1) 土壌掘削工事

汚染土壌が確認された範囲は、所定の深度まで掘削を行う。汚染土壌は掘削後、直接運搬車両へ積み込み、場外の汚染土壌処理業の許可施設に搬出して適切に処理する。

今回の工事による最大掘削深度（GL-1.0m）は地下水位（GL-8.53）よりも浅い為今回工事により汚染土壌が地下水へ拡散することは無い。

### (2) 掘削深さと地下水位の位置関係

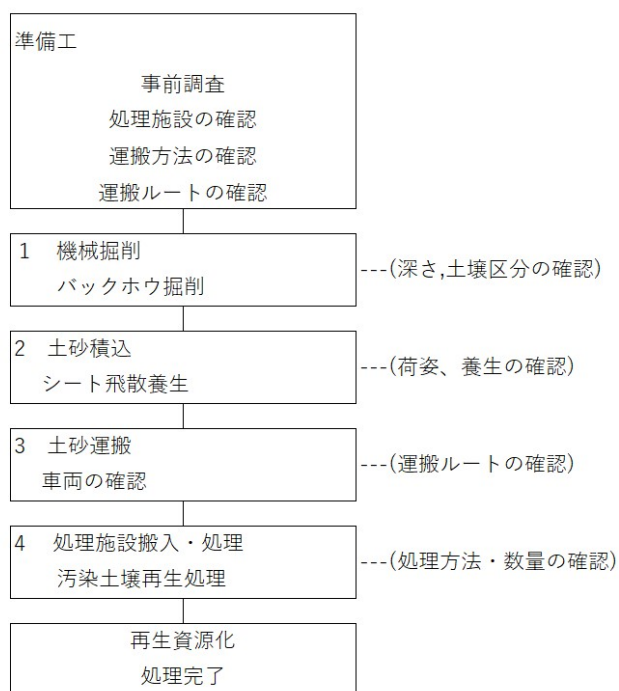


### (3) 埋戻し工事

土壌掘削工事及び基礎解体工事終了後、掘削範囲を砕石又は健全土にて埋め戻す。



#### (4) 施工フロー



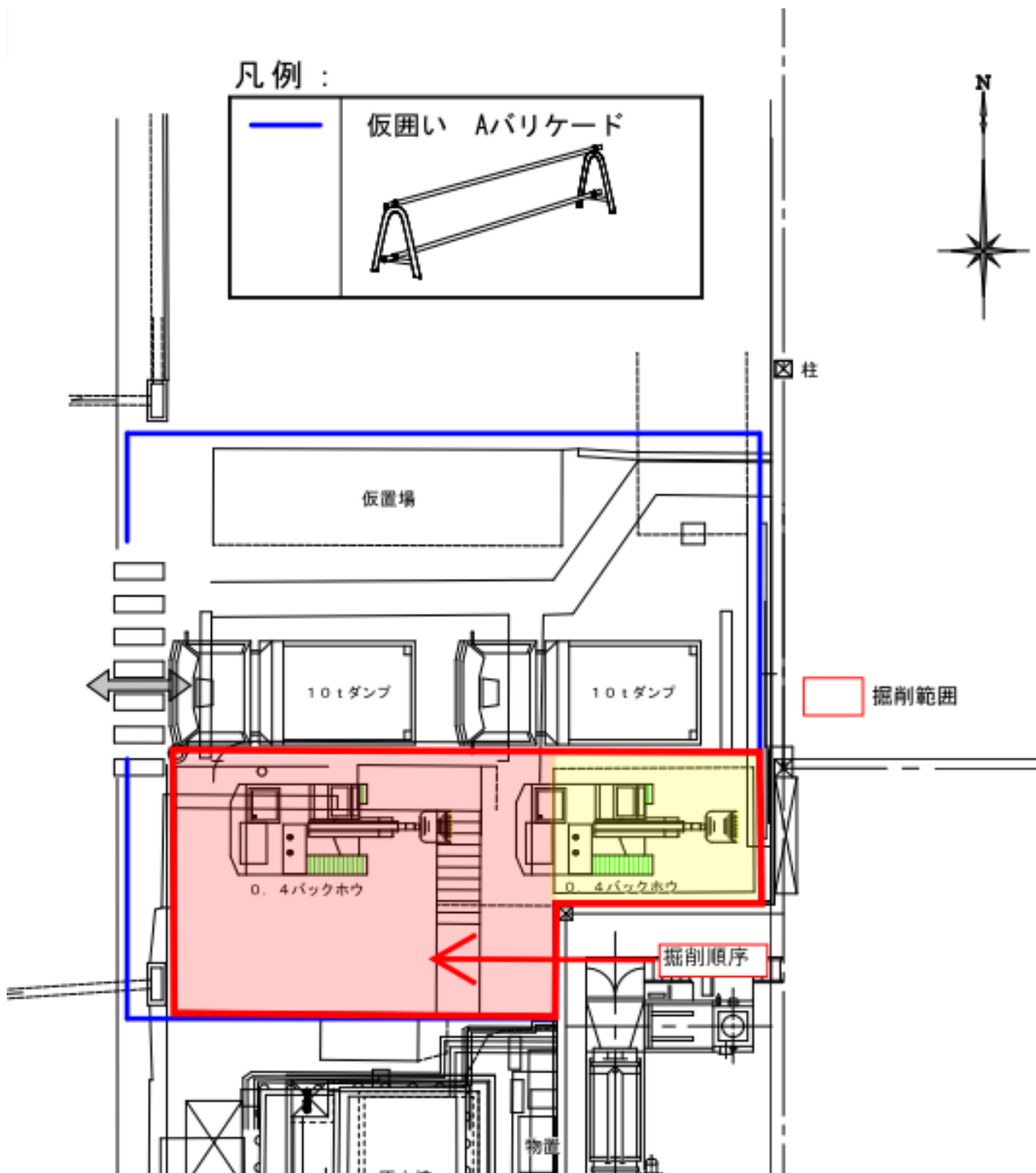
※当該エリアの現行建物の撤去を行った後に本工事を行い、土壌入れ替え後に同じ場所に新たに建物を施工する。

#### 6. 搬出する基準不適合土壌の体積

単位 区画	汚染状態	汚染深度 (m)	掘削面積 (m <sup>2</sup> )	掘削深度 (m)	地下構造物の 体積*(m <sup>3</sup> )	搬出土量(m <sup>3</sup> )
	フッ素およびその化合物(溶出)	0.5	86.83	1.0	0	86.83
					0	
					0	
					合計	86.83

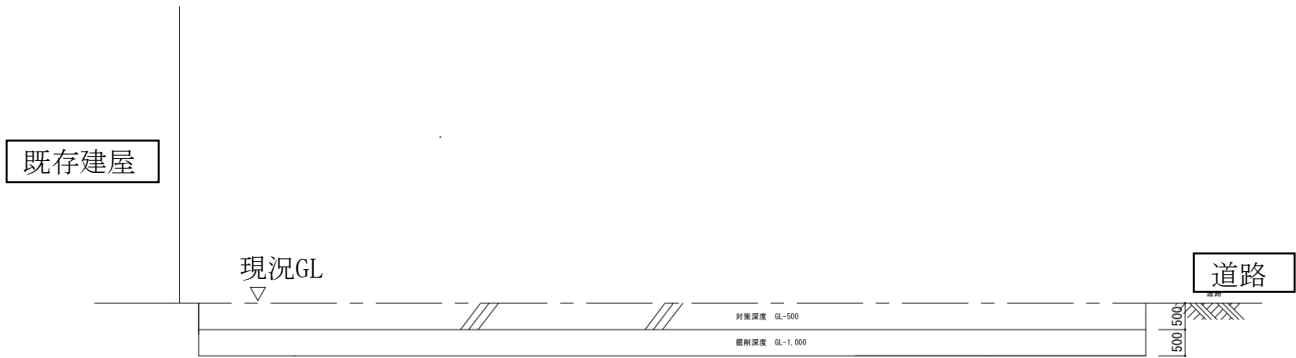
※地下構造物の体積が不明の場合は「0」と記載してください

掘削範囲・掘削順序

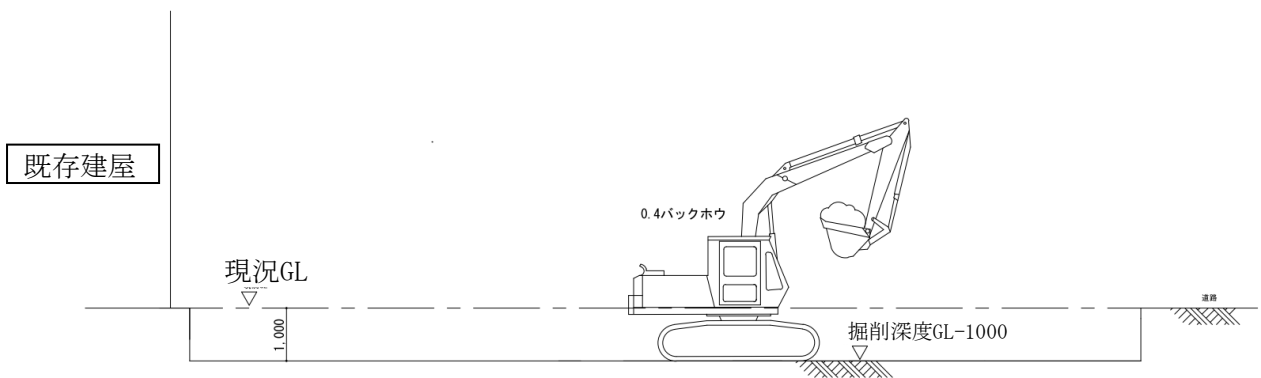


# 掘削計画

## 1. 掘削前 (対策深度GL-500、掘削深度GL-1000)



## 2. 掘削中



## 3. 工事完了後 (購入土にて埋戻し)

